



2020年2月

第296号

The Service Club of The YMCA

## 東京八王子 ワイズメンズクラブ

会長 並木 信一  
副会長 花輪 宗命・久保田貞視  
書記 多河敏子・長谷川あや子  
会計 小口 多津子  
直前会長 久保田貞視  
担当主事 中里 敦  
ブリテン 山本 英次・茂木 稔  
大久保 重子・多河 敏子

国際会長 Jennifer Jones (オーストラリア) 主題 Building today for a better tomorrow スローガン On the MOVE!! 「さあ動こう!!」  
アジア太平洋地域会長 田中博之 (東京多摩みなみ) 主題 Action 「アクション」  
スローガン “With Pride and Pleasure” 「誇りと喜びを持って」  
東日本区理事 山田敏明 (十勝) 主題: 勇気ある変革、愛ある行動!  
副題: みんなで力を合わせて、1・2・3  
あずさ部部长 赤羽美栄子 (松本) 主題: あなたの入会時の“ときめき”と多くの経験をワイズのために!  
クラブ会長 並木信一 主題: 誰かに、何かに、必要とされたい!

### 2月例会プログラム

#### 【TOF 例会】

日時: 2020年2月22日(土) 18:00~21:00  
会場: 八王子市北野事務所 2階大会議室  
(担当:C班 大久保、茂木、多河、辻、山本  
受付:大久保  
司会:山本  
開会点鐘  
ワイズソング  
ワイズの信条  
ゲスト・ビジターの紹介  
聖句・食前の感謝  
会食  
卓話  
東京YMCA 報告  
報告・連絡事項  
スマイル  
A Happy Burthday  
閉会点鐘

並木会長  
全 員  
全 員  
並木会長  
茂 木  
野崎忠行氏  
担当主事 中里  
並木会長 他  
多 河  
並木会長  
並木会長

### 巻頭言

#### 2020年度在京ワイズ合同新年会

久保田貞視

今年の在京ワイズ合同新年会は東京クラブがホストで1月11日(土)14:00から東京 YMCA 社会体育・保育専門学校と東京 YMCA 東陽町センターホールで開催されました。在京クラブ18クラブにビジタークラブ8クラブの115名のワイズメン・メネットが集う盛大な新年会となりました。

本新年会は4部構成で、第1部の礼拝・聖書朗読は「地の塩 世の光」の節を読み上げ、祈祷。献金は「台風19号被災地支援」「北海道家庭学校支援のために寄付されました。

#### 先月の例会ポイント (1月)

		BF ポイント	
在籍	16名	切手 (国内・海外)	0g
メン	11名	年間累計	560g
メイキャップ	0名	現金	0円
出席率	68.8%	累計	0円
メネット	1名	スマイル	7,750円
ゲスト	4名	累計	60,673円
ビジター	2名	オークション	0円
ひつじぐも	4名	累計	0円

#### 今月の聖句 (2020年2月)

「さあ、私の父に祝福された人たち、天地創造の時からあなたがたのために用意されている国を受けつぎなさい。あなたがたは、私が飢えていたときに食べさせ、喉が渇いていたときに飲ませ、よそ者であった時に宿を貸し、裸の時に着せ、病気の時に世話をし、牢にいた時に訪ねてくれたからだ」。

「主よ、いつ、私たちは、飢えておられるのを見て食べ物を差し上げ、喉が渇いておられるのを見て飲み物をさしあげたでしょうか」。そこで王は答える。「よく言うておく。この最も小さな者の一人にしたのは、すなわち、私にしたのである」。

(マタイによる福音書 25:34~40 抜粋)

第2部の歓迎挨拶はホストクラブの東京クラブの加藤義孝会長で、祝辞は日本 YMCA 同盟の神崎清一総主事、アジア・太平洋地域の田中博之会長、東京 YMCA の菅谷淳総主事が行い、菅谷総主事からは東京 YMCA が今年に創立140周年を迎えることに触れました。

第3部は映画観賞で、「大地の詩(留岡幸助物語)」。

同志社を卒業して牧師になった留岡幸助は、北海道にある監獄の教誨師を命じられ、妻とともに北海道に赴任、囚人たちの厳しい環境に心を痛み、囚人の教誨のために説法を続けました。子供が大罪を犯すのは家庭環境が悪い為として子供の犯罪者は大人と分けて、慈愛を持って子供の育成・教育が必要であるとして、「家庭学校」を設立しました。留岡氏と共に苦労した亡くなった前妻と後妻との夫婦愛とともに、罪を犯して収容された子供と共に一緒に北海道で山林を開墾し農業を通して愛に基づいて育成に努めた結果、子供は更生して大人になっていく過程が映像となり、聴取者を感動させました。非常に良い映画でした。

第4部は会場を東京 YMCA 東陽町センターのホールに移動し、懇親会となりました。アピールでは八王子クラブとして第22回チャリティコンサートに参加いただきたく声を上げました。クラブからの出席者は並木会長、長谷川さん、中里さん、久保田の4名でした。



**Change! 2022 シンポジウム**

長谷川あや子

2月1日、Change!2022 シンポジウムが東京 YMCA 社会体育・保育専門学校にて開催されました。東日本区は東西に分かれた1997年には会員数は1,246名でしたが、その後2019年7月時点では849名に減少しました。この状況に歯止めをかけ現状を打開するためにシンポジウムが開かれました。八王子クラブからは並木会長、久保田さん、花輪さん、小口さん、長谷川の5名が出席しましたが、西日本区からは森田恵三さん、大野勉さん、北海道部から富士山部まで全体で100余名の参加があり、会員増強への並々ならぬ思いを感じました。

主なプログラムは

- ・フェイスブック等 SNS の活用実践について
- ・アクションプラン
- ・「16名が36名へ、会員増強の実践」
- ・新クラブ設立の動向—(仮)千葉ウエストクラブ
- ・グループディスカッション(A~Jグループ)
- ・Change!2022 宣言

印象に残ったのは甲府 21 クラブ直前会長野々垣健吾さんの「16名が36名へ、会員増強の実践」でした。甲府 21 クラブは東日本区の中でも破竹の勢いで会員が増えていますが、目的意識をはっきり持っていること、クラブメンバー全員が本気で熱い思いで周囲に働きかけていることが大きな要因だと思いました。当日も野々垣さんの発表があるということで、クラブから12名の方が甲府からマイクロバスで応援に駆け付けました。

その後、10のグループに分かれてグループディスカッションが行われました。私はCグループでしたが9名中5名がクリスチャンでしたので、アクションプランの中の「各種会合のキリスト教の儀式を見直し、違和感のないプログラム・・・」に対しては猛反発。ワイズの目的の第一はYMCAに尽くそうということなのでキリスト教は拠り所である。しかし、今までノンクリスチャンの多いクラブや部に対してキリスト教のお祈りを無理強いしていたのではないかと、という反省の声もありました。各グループともそれぞれ活発なディスカッションが行われましたが実り多い話し合いだったと思います。この日のために緻密なプログラムを組み、いろいろと準備して下さった推進委員会の皆さまに深く感謝いたします。ありがとうございました。



## あずさ部第2回—西早稲田評議会—

小口多津子

2月8日(土)に評議会が西早稲田山手センターにて、ホストを東京たんぽぽ Y サービスクラブホストがつとめました。クラブ出席者は並木会長、久保田さん、長谷川さん、小口でした。ホストクラブ会長越智京子さんからのご挨拶から始まり、評議会に入って、部長の松本クラブ赤羽美栄子さんのご挨拶、全クラブの訪問を終え、各入会式があるたびに駆け付けられたとのことでフットワークのすこさを感じました。部長赤羽さんのお話は、この前半期は12名の新入会員でした。(内訳は、八王子1名、甲府21が6名、サンライズ1名、たんぽぽ2名、武蔵野多摩1名、長野1名)。そして淋しいご報告は、3名が天に召されたことでした。西クラブの庄野久男さん、甲府クラブ石川博さん、布能壽英さんでした。ご冥福をお祈りしました。今期前半の大きな出来事は、長野地方を中心に受けた台風19号の被害でした。予定されていたものが中止、延期したことなど話されました。続けて議案に入り、7月からの次期部長に御園生好子さん(東京サンライズ)がすでに承認されていましたが、その後の次々期部長には東京八王子クラブが担当にあたりますが、この場でクラブからの推薦の長谷川あや子さんが承認されました(2021~2022年です)。前前回の眞野部長、前回の久保田部長に続けての八王子から三人目の部長さんです。クラブこぞの応援の年になります。次に今年度のCS事業への助成金20万円の配分が以下のように承認されました。4クラブに決定、各5万円です。

(松本)留学生アジア賞作文コンテスト(甲府21)ベビーカーコンサート支援

(富士五湖)障がい者フライングディスク大会 in 北麓、(長野)台風19号被災地支援プログラム。

続けて、各クラブ会長報告では、並木会長が八王子クラブのこの半年の報告をされました。

特に、10月の19号台風での25周年記念例会を中止としたことへのお詫びをされ、また、長く続けてきたクラブのメネット会が12月をもって主な活動自体を終了したが、会そのものは存続していることを話され、続けてわくわくビレッジの玄関の広範囲に、立派な花壇を作ったこと、春に咲く花に期待して下さいと締められました。この会長報告の最後に、東京山手クラブの浅羽俊一郎会長が登壇されて、クラブメンバーで何回も討議の場を持った結果、今期で東京山手クラブ解散ということに至ったと語られましたが、これには、全員に衝撃を与えました。

その後、記念写真と懇親会で終了しました。次回の第3回評議会は、甲府にて5月9日(土)甲府クラブ70周年記念会と一緒にです。

## ひつじぐも 副委員長就任あいさつ

中央大学2年 堂本 好美

今年副委員長になった堂本好美です。去年は児童館、キャンプ、他大学交流、ゴミ拾いとたくさんの貴重な経験ができました。これらの活動を通じ、様々な人と出会い、刺激をたくさん受けました。

ボランティアでは体力的にきついなと感じることもやもうやめたいと感じることもありました。しかし、終えたときの達成感、周りからの感謝の言葉、新しい出会いと得られるものがそれ以上にたくさんありました。また、私自身も東京に台風が直撃したとき、助けてもらうという経験をしました。災害や事故などで今までの生活が送れないとき、何らかの事情で困っているとき、誰かにそっと手を差し伸べてもらえることも温かい、幸せな気持ちになれるのかと感じました。そして、人との関わりを大切にしようと思いをしました。

私は今年2年生になります。新しく様々な夢をもった1年生が希望を抱いてひつじぐもに来てくれます。そうした1年生を迎える側として、私は1年生が参加しやすい環境と、しんどいことの中でもボランティアを楽しみと思える瞬間を作るお手伝いをしたいと思っています。

私が昨年ボランティアに行ったとき、ひつじぐもからの参加者は私1人ということがよくありました。不安とともに寂しい気持ちになりました。そのため私も活動にしっかり参加して、出来る限り1年生が1人になることがないようにしたいと思います。また参加した後も反省点や改善点などを共に語り合えると次回へのモチベーションにも繋がると思います。

横のつながりを築きつつも縦のつながりもしっかりと築けるよう、副委員長として全体のサポートをしていきたいと思いをします。

新1年生に限らず、2年生、3年生でもボランティアに行きづらさを感じている人が、1人でも多く行きやすい、行ってみようと感じれるように1人1人に個別に連絡をとって関係を築いていこうと思いをします。



## 西東京センター便り

西東京センター 館長 中里 敦

早いもので、2020年も1月が終わりました。歳を重ねるたびに月日の早さを感じます。西東京センターの冬スキーキャンプはインフルエンザに悩まされましたが、大きな事故や怪我はなく無事に終えることができ、春に向けての準備が始まっています。この冬キャンプから春に向けてのシーズンは、1年の中で最も忙しい時でもあります。定例活動に加え、毎月スキーキャンプがあり、その準備に追われ、色々な事を同時に進めていかなければなりません。

その様に過ごしながらか、1年を振り返り、新年度への準備も始まるこの年に思うのが、ここ数年プリテンに書いている「メタノイア」のことに触れたいと思います。新約聖書に出てくるギシリヤ語になりますが、日本語訳は「悔い改める」となっています。私の中でのメタノイアのとらえ方は「視点を変える」で、「悔い改める」というと懺悔やいけない自分も改めるというイメージを持つこともありますが、そうではなくて、目からうろこが落ちるような意味合いだと思っています。このことはYMCAでの働きの中で必要な視点だと感じています。YMCAでは色々な人と関わり、気付かされることが多くあります。いつも自分の考えが正しいとは限りません。無知であったり、無関心だとますます気づかないことばかりとなります。そのような中での言動は時として不快を与えたり、差別につながっていることもあるのではないのでしょうか。まずは、自分の知らないことを知るが必要だと感じています。そのことが、無関心から関心を持つことになり、言動に気をつかうようになります。いじめも無知、無関心から始まるのではないかと、ピンクシャツデーを向かえる2月に改めて感じます。

## 中大ひつじぐも便り

中央大学国際ボランティアサークルひつじぐも

委員長 川村拓

八王子ワイズメンズクラブの皆様におかれましては平素より中央大学国際ボランティアサークルひつじぐもの活動をご支援いただきありがとうございます。

この度中央大学国際ボランティアサークルひつじぐも第21代会長に就任いたしました、中央大学法学部法律学科2年の川村拓です。昨年はワイズ係と副委員長の役職についておりました。ワイズ係として例会や新入生歓迎草刈りバーベキュー、チャリティコンサートなどの機会に八王子ワイズメンズクラブの方々にはお世話になりました。今年からはサークルの代表というより責任の重い立場となりましたが昨年同様ご指導ご鞭撻よろしくお願ひいたします。

現在ひつじぐもでは、名簿に登録されている部員の数は多いものの、ひとつひとつの活動に参加するに部員の数はそれほど多くないという課題があります。そのため、活動に参加する学生を増加させるために副委員長や各活動の担当者と連携し活動の改善を図り、また部員同士が交流できる機会を増やすことでサークルをさらに活気づけていきたいと思っています。

これに加え、情報の発信についても力を入れていきたいと思っています。ひつじぐもの活動についてより多くの方に知っていただけるよう、またより多くの部員が活動に参加できるようSNSを通じて外部に活動内容の発信し、ひつじぐも内部で活動について情報共有を行っていききたいと思っています。

八王子ワイズメンズクラブとひつじぐもの関係はとても長い歴史があり今後ともこの関係を継続し、またさらに発展していけますよう努力していきたいと思っています。八王子ワイズメンズクラブの方々にはひつじぐもの活動を昨年と変わらずご支援いただくとともに、活動内容やサークルの運営についてアドバイスいただきたいと思っています。まだまだ経験不足ですが何卒ご助力賜りますようよろしくお願いいたします。

## 今月の聖句によせて (2020年2月)

小学生の時、学校に給食はなく、アルマイトのお弁当箱の中は、ゆでた「さつまいも」か「汁をきったウドン」でした。子ども心には、臨席の友達の弁当箱の、麦まじりではあっても、白ごはんがなんとも羨ましく思えたものです。しかし、誰にとっても、貧しい時代でした。幸いにも、なにがしかは供えられ、まったく食事を欠かすということはありませんでしたが、今、飽食の時代といわれ、食品廃棄に関心が集まっています。

地球全体を見渡せば、今、この時代に、飽食とは全く無縁、飢えや寒さ、薬の不足のために5歳を迎えることなく生命の営みを終える子ども達のいかに多いことか。私たちはこの事実を痛いほど知らされています。

ワイズメンズクラブでは、2月例会を「TOF (Time of Fast - 断食の時)」とし、あらためて、目を広く転じて、今、この時に、飢

## 報 告

### 2020年1月第1例会報告

- ▼日 時：2020年1月25日(土) 18:00~20:00  
 ▼会 場：北野事務所第会議室(担当B班)  
 ▼出 席 者：小口・長谷川・中里・並木(真)・花輪・久保田・並木、並木メネ・福田・茂木・山本・多河  
 ゲスト：安武 豊(卓話者)・岡垣修武・徳永和美・酢屋善元(休会中) ビジター：太田勝人(東京町田スマイリング)・大和田浩二(松本) ひつじくも：渡辺伊純(1年)・木下亮太(1年) 水口愛美(2年)・川村 拓(2年)  
 ▼卓話 「人生の飛び石」 卓話者 安武 豊氏  
 ▼協議・報告 \*次期クラブ会長に花輪 宗命メンが推薦され、承認、受諾された。  
 \*次々期あずさ部長に、本人了解のもと、当クラブより長谷川あや子メンを推薦することとした。  
 \*前期会計報告が会計担当の小口多津子メンよりなされた。  
 ▼スマイルー7,750円(12月分スマイルに合わせ、台風被災者支援寄付とする)  
 ▼八王子クラブ当面の予定等  
 1. 西東京YMCAユースリーダー感謝会=「武蔵野・多摩」・「多摩みなみ」&「八王子」クラブ合同  
 ・日時：2月12日(水)・会場：西東京YMCA ・並木、久保田、長谷川、小口、花輪、中里出席  
 2. 2月第1例会予定確認(担当C班) -TOF例会 会費メネット・ビジター 500円  
 日時：2月22日(土) 18時~20時 北野事務所  
 卓話者 太田 勝人氏(東京町田スマイリングクラブ会員)  
 3. 街頭募金 3月7日(土) 八王子駅北口階段下：午後1時30分集合、道路使用許可手続き-並木。  
 4. 第22回チャリティコンサート 3月14日(土) 北野市民ホール メンバー9:30A.M.集合  
 5. 3月第2例会(担当A班) 3月28日(土) 18:00~20:00 北野事務所 意見交換—「東京八王子ワイズメンズクラブの近未来構想」  
 6. 4月例会 \*第1例会 4月11日(土) \*第2例会 4月25日(土)(担当B班)  
 7. 5月第1例会 5月23日(土) 担当C班  
 ・卓話及び卓話者 「コミュニケーションの心得」米長晴信氏(甲府21会員) 一長谷川メン推薦  
 ▼YMCA・他クラブ・部・区等の関連報告  
 1. 在京ワイズ新年会：1月11日(土) 当クラブ参加者4名— 長谷川、久保田、並木、中里  
 2. 「東日本区 Change! 2022」シンポジウム：日時：2月1日(土) 13:00~16:30：東京Y体育・保育学校：会費2,000円：参加予定者5名—久保田、並木、花輪、長谷川、小口  
 3. あずさ部西早稲田評議会：2月8日(土) 於山手センター 出席予定：並木、久保田、長谷川、小口

2月のお誕生日  
久保田佐和子さん 2月21日

### <西東京センター 主な行事予定>

#### 【2月】

定員：各回30名 参加費：700円/1回

【春キャンプ受付開始!!】6日(火) 会員優先受付、8日(金) 一般の受付が開始しています。お知り合いの方にぜひお勧めください。また、リーダーも募集中です!

【ピンクシャツデー】いじめについて考える日です。

いじめのある社会を作っている大人として目を向けませんか?

### 高尾わくわく便り 2月号

館長 古市 健

まだ2月も半分程度を残しており、まだまだ冬が終わったとは言えない頃合いではありますが、今年の冬を総括すれば近年にない暖冬であったような気がいたしております。雪が降ることはおろか、氷が張るような日もほぼなく、毎年わくわくビレッジでは見ることでできた霜柱も、今年はまだ見ることができておりません。当館にご来館いただくお客様にとっては、良いことのように思えますが、何だか冬らしくない、物足りない冬となったように感じております。

さて、例年はこの1月が最もお客様の少ない月となりますが、今年も例に漏れず、お客様の少ない月となりました。しかしながら、1月の宿泊者数は前年度を10%程度上回って1,600名に近づき、例年と比較をすれば多くのお客様にご利用をいただくことができました。この時期ですので、小中学校の学事による利用はほぼありませんが、高校や大学の部活、あるいはゼミ、サークルなど、多くの青少年の皆様にご利用いただくことができました。また、1月から2月にかけては館内にて空調更新工事を行っております。当館も開業より15年を経過することとなり、新しく見えましても老朽化している部分も出てきております。引き続き多くのお客様に快適な空間をご用意すべく、必要に応じて館内の更新工事を積極的に行なって参りたいと考えております。

この1月をボトムとして、2月、3月と徐々に宿泊者は多くなって、4月からまた忙しい日々がやって参ります。繁忙期へ向け、この閑散期を生かしながらかわくわくビレッジのハード面ソフト面の両面をしっかりと手直しを加え、新たに迎える新年度もお客様に満足いただけるよう、努力を重ねて参ります。